

授業科目名	看護管理			担当教員	倉岡 有美子	
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	質の高い看護サービスを提供するための、システムやマネジメントに必要な基礎知識を学習し、リーダーシップやマネジメントを理解する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護管理のプロセスについて説明できる。</li> <li>2. 看護師の仕事とその管理、看護管理に求められる能力について理解できる。</li> <li>3. 看護の質向上のために必要な知識について説明できる。</li> <li>4. 看護職の教育制度と人材育成について理解できる。</li> <li>5. 看護活動を取り巻く法律・制度を理解できる。</li> </ol>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護管理の基本となるもの 1. 看護管理とは 2. 看護管理の基盤となる知識 3. 看護管理のプロセス	講義	予習：テキスト第1章、第2章を読んでくる。	30分	倉岡	
2	看護師の仕事とその管理 1. 「効果的に仕事をする」とは 2. 看護管理で重要なこと 3. 資源管理	講義	予習：テキスト第3章を読んでくる。	30分	倉岡	
3	看護管理に求められる能力 1. 集団に働きかけるスキル 2. 看護管理能力の基盤となる理論	講義	予習：テキスト第5章を読んでくる。	30分	倉岡	
4	看護の質向上① 1. 医療安全	講義	予習：テキスト第4章を読んでくる。	30分	倉岡	
5	看護の質向上② 1. 看護管理と倫理 2. 医療・看護の質と評価	講義	予習：テキスト第4章を読んでくる。	30分	倉岡	
6	看護職の教育制度と人材育成 1. 看護の教育体系 2. 看護職としてのキャリア	講義	予習：テキスト第6章を読んでくる。	30分	倉岡	
7	看護活動を取り巻く法律・制度 1. 看護にかかわる医療・介護制度 2. 看護管理に関連する法律	講義	予習：テキスト第7章、第8章を読んでくる。	30分	倉岡	
8	看護管理の総括 (学生によるプレゼンテーションと討議) 定期試験へのフィードバック	講義	予習：プレゼンテーションの準備をする。	30分	倉岡	

先行履修科目	3年前期に開設するすべての必修科目				
テキスト	吉田千文他編：ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理. メディカ出版, 2018.				
参考文献	上泉和子 他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践 (1) 第9版. 医学書院, 2013. 井部俊子他監修：看護管理学習テキスト第3巻看護マネジメント論. 日本看護協会出版会, 2017. 井部俊子他監修：看護管理学習テキスト第4巻看護における人的資源活用論. 日本看護協会出版会, 2017.				
メッセージ	看護管理は、看護管理者だけに必要な知識ではなく、一人一人の看護師にも必要とされる知識や技術です。基礎教育での最終段階でこの科目を学ぶことは今後、看護職者として働く皆さんの実践をよりよいものにすると考えます。 各回に討議の時間を設けます。看護管理に関する理論を深く理解するために、能動的に参加してください。				
科目の位置づけ	この科目の位置づけは、大学カリキュラムの最終段階である統合科目となっている。これまでに学習してきた講義、演習、実習を統合してふりかえりながら、自己の看護について学ぶことができる科目である。特に看護管理やマネジメントの講義・演習を復習しながら看護の実践の場をイメージし、自己の看護についての考えを確かなものにしていくことができる科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
			◎	○	
評価方法	授業参加度（授業中の発言）（15%）、プレゼンテーションの内容（5%）、定期試験（80%）で評価				